

## 平成22年第2回定例会一般質問通告書

通告 1 番 山内孝樹 議員

質問方式 総括質問方式

1 件目

質問事項 地域再生の方策として空き家の有効活用を

質問の相手 町 長

質問の要旨 郷里を離れ、都会での勤めがやがて定住する事情が要因となり、出生地は次第に高齢夫妻が占め、後々、空き家現象が各地域、集落に見られるようになった。

そこで、空き家になっている家屋所有者との連携により、定年後、帰郷やふるさと回帰を希望する方々、また本町への定住希望者への賃貸等、交流拡大による町の活性化と共に地域の再生ともなる空き家の有効活用の考えはないか。

通告 2 番 大瀧りう子 議員

質問方式 一問一答方式

1 件目

質問事項 介護保険制度の充実を

質問の相手 町 長

質問の要旨 平成21年度から23年度までの第4期介護計画に基づいて、現在介護保険制度の実施が行われている。町民が安心して制度利用ができるように、次の点を伺う。

1. 保険料の町独自の軽減処置は。
2. 家庭介護手当の考えは。
3. 介護おむつ購入の助成は。
4. 介護家族の支援は。
5. 予防介護の取組みは。
6. ケアマネージャーなどの新しい職員の育成は。
7. 孤独死を防ぐ対策は。

2 件目

質問事項 町民の足の確保はデマンド方式で

質問の相手 町 長

質問の要旨 平成18年10月から町民の足は、町民バス・乗合タクシー・スクールバスによって確保されている。しかし、路線から外れた高齢者や障害者にとって通院や買い物が大きな負担となっている。県内でもデマンド方式を取っている市町は8市町となっ

ていて、特に平成 21 年 7 月から実施している東松島市では、市民から大変喜ばれていると聞いている。当町でもこの方式を実施する考えは。

通告 3 番 鈴木春光 議員

質問方式 一問一答方式

1 件目

質問事項 三陸道整備に伴う町づくり提言は

質問の相手 町 長

質問の要旨 三陸自動車道「登米・志津川道路」のうち登米東和町米谷 IC 間が 3 月 22 日供用開始出来ることが仙台河川国道事務所が発表している。当町では「三陸道整備に伴う町づくりプロジェクトチーム」の立ち上げや平成 21 年度には「三陸道整備推進室」が設置されるなど本格的な町づくりへの取組みが推進されている。プロジェクトチームの報告書は「選ばれる地域の構築を」提言しているが実効性のある施策の展開と具体策について町長の考えを伺う。

2 件目

質問事項 災害時に於けるインフラ対策は

質問の相手 町 長

質問の要旨 チリ地震津波から 50 年、宮城岩手内陸地震災害から 2 周年をやがて迎える。更には確実に起ると予知されている宮城県沖地震等大規模災害に備えた、防災訓練や防災の町づくりについて日夜取り組んでおられるところでありますが災害時に於ける次の点について、町長の考えを伺う。

1. 交通網対策は。
2. 通信情報伝達対策は。
3. 断水等による下水、給水対策は。

通告 4 番 星 喜美男 議員

質問方式 一問一答方式

1 件目

質問事項 幼保小の連携強化とグリーンフィールドの整備について

質問の相手 町 長・教 育 長

質問の要旨 子供達の学力低下と体力低下が大きな問題になっている。そこで次のことを伺う。

1. 幼児達が適切な教育環境の下で心身共に健やかに育ち、小

学校教育への円滑な移行が図られるよう、幼稚園や保育所等と小学校との連携を強化推進してはどうか。

2. 日本と欧米等の子供達の体力差は足元の環境「芝生」と「土」にあるということで、各地でグラウンド等の芝生化が進められている。当町の取り組みは。

通告 5 番 山 内 昇 一 議員

質問方式 総括質問方式

1 件目

質問事項 三陸自動車道延伸に伴う南三陸町道の駅構想の具現化で経済効果と活性化の更なる構築を伺う

質問の相手 町 長

質問の要旨 悲願の三陸自動車道が一時、政権移譲で危ぶまれたが、登米・東和 I C が来月 3 月 22 日供用開始である。いよいよ南三陸町に延伸、命の道路としても町民の高い安堵感の中であるが、本町の町造りの今後、どの様に影響がでるか不安と強い期待感もある。高速交通時代の幕開けで凭せられる大きな変革が余儀なくされるが 100 年に一度あるか無いか、この町の大動脈の開通は町の各産業振興・観光定住化と人口流動化等に今後の町づくりをどう考えるのか。そのメリット・デメリットのある高速道の開通に小さくてもキラリと光る町づくりを堅持するため行政がストロー現象対策に打って出る姿勢が必要で早目の対策が必要です。記念すべき高速道の開始に合せた南三陸町道の駅構想の具現化で小森 I C（仮称）付近に設置で経済効果で町の活性化の波及効果を出すべきと思うが伺う。

2 件目

質問事項 国の戸別所得補償制度導入に合せた米粉活用の促進を伺う

質問の相手 町 長

質問の要旨 国が平成 22 年度、新たな農業施策として打ち出したもの。戸別所得補償モデル制度が実施される。10 アール当たり 1 万 5 千円の交付金で水田利活用自給力向上事業で米粉等実際の需要に結びつけば 10 アール当たり 8 万円と約 5.3 倍交付金多くなり、他市町村では食育活動と共に米粉利活用活動が多い。本町でも農家に対し米粉普及を周知すべきで J A ・農業委員会・食育ボランティア等あると思うが、国・県関係機関との指導のもと連携して本事業の効率性生き残りをかけ求めるべきと思うが伺います。

3 件目

質問事項 県内唯一現存の地域資源、町文化財の弘川水車再生、観光振興促進と利活用対策を伺う

質問の相手 教 育 長

質問の要旨 平成 18 年 9 月定例会でも提出しておりますが、県営弘川ダム建設中の上流地点、10 数戸程の奥山深い集落が長い年月守り続けた水車小屋はその後歌津町時代に町の文化財指定を受け補修がされた様です。しかし、その後合併されても手入れされず放置状態の姿に見受けられます。観光立町として町の文化財の整備も大切で、その考えはどうか。又、今後再生できれば地域の人々、観光客等の体験利活用の場としての考えもお伺いします。

通告 6 番 千 葉 伸 孝 議員

質問方式 総括質問方式

1 件目

質問事項 志津川駅のトイレ設置について

質問の相手 町 長

質問の要旨 気仙沼線志津川駅には J R 東日本の駅構内しかなく、町民や車で観光の方々のトイレがない。町として志津川駅ロータリー付近にトイレ建設設置は考えていないのか。

2 件目

質問事項 町民雇用と外国人雇用問題の対策について

質問の相手 町 長

質問の要旨 外国人の労働雇用によって職場を失った町民への生活支援についてと、平成 22 年 7 月より外国人研修生・実習生制度が変わり、雇用契約に基づく労働基準法や最低賃金法などの労働関係法令が適用となる。これに伴う外国人雇用事業所への支援、この二つの相反する問題への対策を伺う。

通告 7 番 三 浦 清 人 議員

質問方式 一問一答方式

1 件目

質問事項 産業振興について

質問の相手 町 長

質問の要旨 1. 雇用対策について  
2. 企業誘致対策は  
3. 後継者育成対策は

#### 4. 農林課と水産課の設置の考えは（産業振興課の分離）

2 件目

質問事項 福祉施策について  
質問の相手 町 長  
質問の要旨 知的、精神障害者が入居生活する施設の建設計画の見通しは

通告 8 番 菅 原 辰 雄 議員

質問方式 一問一答方式

1 件目

質問事項 志津川市街地の雨水排水・水面上昇による逆流対策について

質問の相手 町 長

質問の要旨 旧志津川町では昭和 35 年のチリ地震津波被害復興のための都市計画区画整理事業や気仙沼線開通に伴う志津川駅前開発計画等に基き町づくりが推進されてきたものであると認識しているが、市街地では台風等による大雨時には排水機能の麻痺や低気圧による高潮や大潮による海水や河川水位の上昇による排水不能や排水路の逆流による道路冠水や住宅への浸水被害が続発している。これらの現状をどう捉え、どのような対策を講じて行くのか。安心安全な町づくりと、生命財産を守るのが第一の使命とする行政の役割の観点からの対策を伺う。